

天敵・害虫関連情報の共有環境「天敵 Wiki」の利用事例

○田中 寛（大阪食とみどり技セ）・木浦卓治（中央農研）・菅原幸治（中央農研）・関塚知己（神奈川西湘県政総セ）

作物栽培圃場の環境は多様であり、そこに生息する病虫害の発生・加害状況や天敵の活動状況はさらに多様である。したがって、ある圃場で成功した天敵の利用システムが他の圃場でも成功するとはかぎらない。天敵カルテシステムは「天敵を利用した IPM 普及のための統合支援システム」を標榜し、失敗事例を重視した諸事例の共有・活用による天敵の利用促進を目指している。しかし、初期の「事例カルテ」は様式が固定化され、また入力に多大な労力を要したため、事実上挫折し、事例を多く集めることはできなかった。

天敵 Wiki はその反省のもとに（情報の質が多少落ちたとしても）ブログ的な入力システム「Wiki」を採用し（詳細は菅原ら（本誌前ページ）参照）、事例や情報を多数集めることに成功しつつある。量は質に転化する。現在（2006年11月）ではこれらの情報の利用は原始的・発展途上のであるが、多人数の知恵によりいずれは情報利用システムも徐々にまた多様に確立されていくと予想される。ここでは現在の利用事例、とくに活発な情報交換が行われている談話室「ナスのソルゴ巻（以下『ソルゴ巻』）」の事例を紹介する。ソルゴ巻とは天敵のバンカーとなるソルゴによる囲い込み栽培のことであるが、詳述しない。

天敵 Wiki には誰でも参加できる天敵 Wiki 運営委員会「天敵カルテ戦略ルーム」、ポリシー「天敵 Wiki へようこそ」、関連ドキュメント、関連データベースをはじめ、Web 病害図鑑、Web 害虫図鑑、農薬 Wiki、天敵利用マニュアル、談話室、藤沢流天敵悪影響目安、天敵用語集、書評、質問箱、リンク、ニュース、イベントなどのプロジェクト（章）がある。もちろん誰でも新たな章を作ることができるが、もっと気軽に作れるのはサブプロジェクト（節）であり、『ソルゴ巻』がこれに相当する。

『ソルゴ巻』では、ソルゴ巻談話室のできた経緯と使い方、ファイルの添付の仕方、なすのソルゴ障壁を利用して、★黄色灯導入上の問題点、他の作物でもソルゴ巻、三尺ソルゴについて、ソルゴの草丈問題、お茶・ネギのソルゴ巻？、ソルゴ巻きの周辺作物について、囲い込み栽培で使った薬剤について、★なすの害虫についての評価、★キュウリのソルゴ巻に挑戦、★今年のソルゴについて、デントコーンバンカーなど合計 27 のタイトルおよび写真集があり、とくに情報やコメントが多い場合は「派生した話題」として、節と同格の構造にできる（上記★印）。詳述の余裕がないので、内容は上記のタイトルを紹介することで推察してもらうにとどめるが、話題提供とコメントを合わせて現瞬間で合計 314 本の記事がある。はじめてソルゴ巻に挑戦する農家や技術者は、自分の興味ある単語で検索すれば概要やコツが把握でき、また、疑問があれば記事を書いて質疑応答すればよい。それがまた事例や情報を増加させて他の人の役に立つという良循環構造になる。

『ソルゴ巻』の「進化」は生物の系統進化や神経シナプスの消長に似ている。現時点で「進化」が停滞しているように見える他の章もいつ適応放散で爆発するかわからない。絶滅したように見えても化石がいつ掘り出されるかもしれない。比喩的にこのように解釈すると『ソルゴ巻』をはじめとする天敵 Wiki のシステムが理解しやすいと思われる。